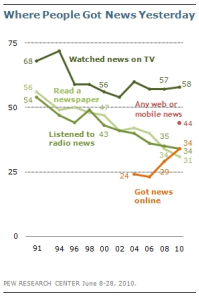
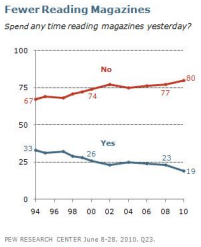
アメリカの「Pew Research Center」
の調査によると、アメリカでは、新聞と雑誌のメディアとしての地位が急速に低下している。まず新聞だが、人々が接触する主要ニュースメディアとしては、なんと最下位に転落してしまった。また、雑誌は「昨日、雑誌を読みましたか」との問いに対して、Yesと答えた人の割合はわずか19%で、Noと答えた人が80%にも達している。

「Pew」の調査は、ランダムサンプルした大人（18歳以上3006人）を対象にした電話インタビュー。調査は2010年6月8日～28日に実施された。この調査は1991年から行われているが、当時は「ニュース情報に接するために昨日接触したメディア」（複数回答）として、新聞は56%を占めていた。ところが、今回は31%である。グラフが示すように、新聞は最下位だ。



・Watched news on TV：58%
・Any web or mobile news：44%
・Listend to radio news：34%
・Got news online：34%
・Read a newspaper：31%

次のグラフは、「昨日、雑誌を読みましたか」との問いに対して、YesとNoの割合を示している。1994から今回調査までが、折れ線グラフで示されている。



一目瞭然だが、なんとYesと答えた人の割合はわずか19%で、Noと答えた人が80%である。Yesと答えた人は1994年には33%もいたのに、今年は 19%。2年前の23%からも4%も減っている。

もはや、プリントメディアの衰退は止められないのだろうか？
また、日本も早晩同じようなことになるのだろうか？

Americans Spending More Time Following the News (The Pew Research Center for the People & the Press)